

※記載例を参照の上、ご記入ください。

(様式第3号)

企業・団体名(株式会社井上興業)

# SDGs達成に向けた具体的な取組 (要件2) 【R5.11.30変更】

カテゴリー	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合こちらには理由記載)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
人権・労働	【差別的禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本			土木・建築・エクステリアの総合建設業のみならず、宅地建物・配送業等多方面に展開し、各現場責任者を中心に管理・教育・福利厚生等社員の声に耳を傾けながら関与している。					5.1 5.2 5.5		8.5 8.7 8.8	10.2 10.3					16.1 16.2 16.7				
	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本			現場へ入る際、全体会議でコンプライアンス研修を通して、相談体制の構築を行う。					5.1 5.2 5.5		8.5 8.8						16.1				
	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本			労働基準法を基に改正内容等経営者・各現場管理者で共有し、休日出勤が伴う場合振替、休日の徹底を図り従業員の体調管理を図る。							8.5 8.8										
	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本			下請け業者で派遣労働者が勤務する現場が増えており、適切な処遇や労働環境の整備を心掛けている。				4.4			8.7 8.8	10.2 10.3									
	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本			各班毎に現場に入る前に安全委員会を行い、現場でのリスク等従業員と情報を共有しながら安全で衛生的な環境体制を構築する。			3				8										
	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本			経営者が年1回従業員と面談を行い、普段の悩みや心のケアに取り組んでいる。			3														
	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本			「職場いきいきアドバンスカンパニー」の認証を取得しており、建築士や宅建士の在宅勤務を推奨したり、女性社員の妊活促進を行う等、雇用の多様化に努めている。					5.1 5.5		8.5	10.2 10.3									
	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本			若手・新入社員層・中堅社員層・監督者、管理者層の3つに分けて、3年計画で職能別・技能検定の取得を管理している。				4	5.5		8	9									
	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本			労働契約法等改正内容を経営者・各工場と共有し、同一労働同一賃金の原則に沿った体制を構築。					5.5		8.5	10.2 10.3									
	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ			都道府県協会けんぽ、健保連に「健康づくりチャレンジ宣言」を行っている。健康経営優良法人認定(経済産業省)を取得している。			3				8										
環境	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本			「産業廃棄物減量化・適正処理実践協定締結者」を長野県と締結しており、経営者が週1回管理・視察を行い、リサイクルが出来るモノを指定工場に配送しリサイクル活動を行っている。								11.6	12		14.1						
	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本			省エネ診断を行い省エネ計画の策定を検討。CO2削減活動として重機のハイブリッド導入の検討。(重機の入替を別途)						7.3				13							
	【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本			本社で燃料・使用電力を記録に残し使用料の把握。(エアコンのON/OFFの徹底や温度管理等)						7.2 7.3			12.4	13.3							
	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本			法令で規制されている有害化学物質を把握し、各班に現場に入る際に適切な使用に取り組む様徹底する。(各現場に有資格者を配置して管理し被害が及ばない様に徹底)			3.9			6.3			11.6	12.4							

カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合は理由記載)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																		
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
15	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本			山林での工事や国道維持作業等、自然環境に配慮しながら作業・設計を行う。また、諏訪湖のヒシ植物（夏場に湖面に繁茂）の除去に力を入れている。諏訪湖創成ビジョンに参加。						6.6								15					
16	【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本			「産業廃棄物減量化・適正処理実証協定締結者」を締結しており、3Rのガイドラインに沿った活動を行っている。														13		14.1			
17	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ			自社の水源を含む水利用状況を本社・各現場で把握している。						6.4 6.6													
18	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ			ISO14001を取得している。				3.9		6	7							12	13.3	14	15		
19	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ			HPで環境に配慮した素材の提示や環境美化ボランティア活動の実施を掲示。														12.6					
20	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ			本社事務所・各班の工場で発電時に二酸化炭素の排出が少ない水力発電を使用しクリーンエネルギーの使用に努めている。						7.2									13				
21	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ			材質に優れている地元の県産材を利用して天然資材の持続的利用に配慮した調達を徹底している。														12.2	13	14	15		
22	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本			汚職・贈収賄禁止等含む内容を就業規則に定めており、従業員へ周知徹底を図っている。																	16 16.5		
23	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本			不正競争行為を含む社内規制の整備と各現場へ会議を実施し周知している。																	16		
24	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本			土木の作業の効率化を目指す為に、知的財産の開発等心掛けています。									8.2 8.3	9									
25	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本			「個人情報保護方針」に従って個人情報の利用目的等HPで公表し体制を整備している。(マスキングして提出)																	16		
26	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ			自社で取り扱う資材・機材を把握し、紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している。																	16		
27	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ			行政を交えた意見交換会で、人権侵害防止や倫理面での適切な対応や市場調査等の情報供給を行っている。						5		8		10				12	13	14	15	16	17
28	【パートナーシップ構築宣言】(R5.9.5～追加) ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している	基本		【予定】	企業の信頼性と社会的責任の向上をさせて、イメージアップをはかりたい。					3				8	9	10							17	



上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組		具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

**【記載留意事項】**

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。）
- ・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。  
 （※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）

- この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成
- 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は**黒字**、間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、**赤字**で番号を記載
- 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載  
 ※1…組織の社会的責任に関する国際規格      ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定